

第6回社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会	参考資料 2
令和7年11月10日	

介護人材確保の現状について

介護職員の現状

- 介護職員の年齢構成は、介護職員(施設等)については30～59歳、訪問介護員については40～59歳が主流となっている。
- 男女別に見ると、介護職員(施設等)、訪問介護員いずれも女性の比率が高く、男性については30～49歳が主流であるが、女性については40歳以上の割合が高くなっている。

1 就業形態

	無期雇用職員	有期雇用職員
介護職員(施設等)	63.9%	25.7%
訪問介護員	55.4%	30.8%

注)無期雇用職員:労働時間数にかかわらず雇用期間の定めがない者。(有期労働契約より無期労働契約に転換した者も含む)、有期雇用職員:無期雇用職員以外の労働者。(派遣労働者、委託業務従事者は含まない。)

注)介護職員(施設等):訪問介護以外の指定事業所で働く者。訪問介護員:訪問介護事業所で働く者。

注)無期・有期不明の回答があるため、合計しても100%とならない。

【出典】令和6年度介護労働実態調査 ((財)介護労働安定センター)結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計

2 年齢構成(性別・職種別)

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
介護職員(施設等)	0.1%	8.3%	19.2%	28.7%	26.4%	8.7%	5.0%	2.6%
男性 (27.6%)	0.2%	11.7%	28.2%	31.2%	19.0%	4.9%	2.8%	1.3%
女性 (71.9%)	0.1%	7.0%	15.8%	27.9%	29.3%	10.2%	5.9%	3.1%
訪問介護員	0.1%	6.0%	13.0%	24.5%	28.4%	12.5%	8.1%	6.4%
男性 (16.6%)	0.0%	13.6%	26.1%	29.3%	18.9%	5.5%	3.9%	2.6%
女性 (82.6%)	0.1%	4.5%	10.5%	23.5%	30.4%	13.8%	9.0%	7.1%

【出典】令和6年度介護労働実態調査 (公益財団法人介護労働安定センター)結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計。

注)調査において無回答のものがあるため、合計しても100%とならない。